

情報セキュリティ対策のあらゆる製品・サービスが一堂に会する専門展示会

第23回 情報セキュリティEXPO【春】

インテリジェントウェイブ（以下、IWI）は、2026年4月8日から10日、東京ビッグサイトで開催された第23回情報セキュリティEXPO【春】に出展しました。「事業を止めないためのセキュリティ」をテーマに、セキュリティ対策を個別の施策としてではなく、組織としてどのように整理し、継続的に運用していくべきかという視点からご紹介しました。

会期中、IWIのブースには、情報システム部門やセキュリティ担当者の方々を中心に、製造業・IT・小売業など幅広い業種の方々にご来場いただきました。

Point 01 事業を止めないセキュリティ対策に必要な3つの視点

近年、セキュリティインシデントは情報漏えいとどまらず、業務停止やサプライチェーンへの影響、企業ブランド・信用の毀損など、事業継続そのものを脅かすリスクへと深刻化しています。

こうした状況において、組織が事業を継続していくためには、個々の脅威への技術的な対策や、日々の運用を効率化する仕組みづくりに加え、組織全体でセキュリティを自分ごととして捉え、施策を推進していくことが欠かせません。本展示では、この考え方をもとに、セキュリティを実効性のあるものとして定着させるための取り組みを3つの視点から整理し、その実現に向けたヒントをご紹介しました。

- 対策重視：必要な対策を1つ1つ積み上げている状態
- 運用重視：運用者の負荷が軽減されている状態
- 組織文化としてのセキュリティ：組織全体でセキュリティ意識を共有している状態

対策重視

セキュリティリスクに対して
必要な対策を
1つ1つ積み上げている状態



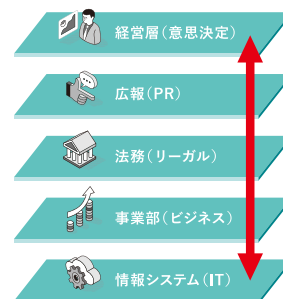
運用重視

横断的な一つの運用として回すことで
運用者の負荷が
軽減されている状態



組織文化としての セキュリティ

組織全体でセキュリティ
意識を共有している状態



組織の個性に合わせたセキュリティ対策を組織全体で「当たり前」に

事業を止めないセキュリティ対策に必要な3つの視点

Point 02 当日の展示内容

ブースでは、これら3つの視点に沿って、具体的なソリューションと将来の構想をご紹介しました。

<p>対策重視</p> <p>CWATご紹介・デモ</p> <p>PC端末上の操作を記録・監視し、不審な操作をリアルタイムで検知することで情報流出リスクから保護するエンドポイントDLPをご紹介</p> <p>CWATの製品ページを見る →</p>	<p>運用重視</p> <p>次世代CWATご紹介・デモ</p> <p>セキュリティ対策を継続的に機能させるために、誰が担当しても同じ判断・運用が行えるよう、AIを活用したソリューションをご紹介</p>	<p>組織文化としてのセキュリティ</p> <p>組織文化醸成の実現に向けたお客様との対話</p> <p>「セキュリティが自然と組織に根付いている状態=経営層から現場までが同じ視点でリスクを捉え判断できる状態」を目指すにあたってどういった課題があるのか、どう実現していくかを来場者とともに整理</p>
--	--	---

Point 03 皆さまから寄せられたお悩み

来場者の皆さまとの対話を通じて、多くの企業に共通するお悩みが見えてきました。特に、セキュリティ技術そのものの過不足よりも、「組織内での認識のギャップや連携の難しさ」に起因するものが多く挙げられました。

情シスが属人的に対応していて全体設計ができていない

守るべき情報と自社に必要なセキュリティ水準が定義されていない

経営層にセキュリティリスクをどう説明すればいいかわからない

「セキュリティは情シスの仕事」という認識が強く、部門横断での仕事できていない

有事には一時的に連携が強まるものの、平時の継続的な連携が難しい

「セキュリティは保険」という考えが連携不足の要因になっている

組織全体でセキュリティ意識を共有する「組織文化としてのセキュリティ」という考え方には、多くの皆さまから共感の声をいただきました。その一方で、実際の現場では情報システム部門に任せきりになっており、部門をまたいだ平時の連携や組織全体で判断する場面、さらには有事の際にも責任の所在が曖昧になるなど、理想と実態の間に大きなギャップがあるという現実も改めて明らかになりました。

Point 04 事業を止めないセキュリティの実現に向けて

経営層と現場間の認識の乖離や、部門間の役割の曖昧さといった構造的な課題は、システムの導入だけで解決できるものではありません。IWIは、確実な防御の実現に向けた取り組みに加え、AIを活用した運用の効率化や、組織全体でリスクに向き合うための体制づくりの支援についても、今後さらに検討・強化を進めていきます。具体的な対策や運用のご相談については、ぜひお気軽にお問い合わせください。

個別相談を申し込む

または メールでご相談する：iwi_security@iwi.co.jp